

事業所名 グループホーム和楽

作成日：平成26年12月 5日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食事は、旬の食材や新鮮な物を取り入れた献立を工夫している。職員は、利用者と同じテーブルで楽しく食事ができる雰囲気作りに努めているが、食事の一連の作業に利用者の参加がない。利用者の摂取カロリーや嚥下能力に合わせた調理形態に対する支援がなされていない。	同一事業所の栄養士のアドバイスを受けられる体制を作りたい。また、自分達でも栄養や嚥下能力などの食事の一連の動作を勉強していきたい。	管理者、ケアマネジャー、調理担当者を含め、食事の一連の動作を勉強会を計画して行っていきたい。また、食事の事で、アドバイスを頂きたい時は、同一事業所の栄養士のアドバイスを受けられるように相談など行っていく。	6ヶ月
2	33	重度化や終末期に伴う意思確認、看取りの指針、同意書を整備している。本人や家族の意向を踏まえ、安心して納得した最後を迎えられるよう取り組んでいるが、スタッフが不安を抱えている。	今後も看取りを希望される家族も多くなってくると思われる為、スタッフのスキルアップを図れるようにする。	終末期のケアや死後の処置などを含めて、安心して最後を迎えられるようにスタッフのスキルアップを図る為、勉強会や病院での体験学習を行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。